



一般社団法人 大和青色申告会 青年部通信 「ブルーウェーブ」 発行責任者 青年部長 下田兼義
発行 一般社団法人 大和青色申告会 青年部

街頭献血の呼掛けを実施

大和税務署駐車場、大和駅

2会場にて開催

献血数は前年を上回る!



大和税務署駐車場 献血バス前にて

平成28年10月12日に、大和税務署にご協力をいただき、午前中は大和税務署駐車場、午後は大和駅北口において、公益事業として青年部伝統の街頭献血の呼び掛けを実施しました。今年で21年目を数えることになりました。
当日は、天候にも恵まれて秋晴れの心地よいさわやかな一日でした。献血会場には、大和税務署より税務署長の佐野徹様、副署長の金子彰宏様、副署長の落合信之様、総務課長の白土和則様、個人第1統括官の永田豪生様、個人指導上席の柳原正徳様、また当会の親会より曾根寿太郎会長、さらに、神奈川県赤十字血液センターより所長の藤崎清道様、献血推進一部長の千葉泰之様、献血推進一部推進課長の菊池裕之様のご挨拶にお越しくございました。

また、小田原会青年部会副部会長の三浦一浩様、青年部会計役の若林功様、事務局事業課係長の野中一宗様他たくさんの方が応援にきてくださいました。今年、総勢61名の方が献血にご協力をいただきました。多くの方にご協力を頂き、誠にありがとうございました。

さて、病气やけがの治療のために、日本国内では毎日約3000人もの患者が輸血を受けています。しかし、輸血に必要な血液製剤は人工的に造れないうえ、長期間の保存もできないため、血液製剤を常に確保しておくには年間を通じた継続的な献血へのご協力が不可欠です。平成26年に行われた日本赤十字社の推計によると、少子高齢化の進行によって、平成39年(2027年)には輸血の需要がピークを迎え、延べ献血者約85万人分の血液が不足するおそれがあります。

青年部といたしましても、この街頭献血の呼び掛けは、これからも続けていきたいと思っております。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

(副部長) 諏訪 信忠



大和駅 献血バス前にて

街頭献血結果のご報告

大和税務署

受付人数		受付人数 合計	献血人数		献血人数 合計
200ml	400ml		200ml	400ml	
3	25	28	2	23	25

大和駅

受付人数		受付人数 合計	献血人数		献血人数 合計
200ml	400ml		200ml	400ml	
3	30	33	2	23	25

全体集計

受付人数		受付人数 合計	献血人数		献血人数 合計
200ml	400ml		200ml	400ml	
6	55	61	4	46	50



青年部主催ブルーリターンA講習会を開催



11月29日(土) 14時より、大和市勤労福祉会館3階ホールにおいて、青年部主催ブルーリターンA講習会を開催しました。講習会は未購入者や使い始めた方向けの『初心者コース』と、既にご利用している方向けの『上級者コース』とに分けて行い、両コース合わせて55名の方が参加されました。当日は皆根寿太郎会長、岩崎清昭理事にもご出席頂き、講師には全国青色申告会総連合事務局次長の秋元賢一様をお招きしました。

最初の初心者コースでは、練習問題の例題を入力し、ブルーリターンAの使用法、魅力を知ってもらいました。終了後、ブルーリターンAの販売会を行い、1名の方が購入して下さいました。

次の上級コースでは、ブルーリターンAの使用者でも、なかなか知られていない便利な機能や、自宅から電子申告できるように、用意していただく物や、パソコン環境の設定、操作手順を丁寧に説明して下さいました。最後は平成28年分の確定申告書から記載が必要なマイナンバーについてです。どのタイミングでマイナンバーを入力するのかなど、細かく説明して下さいました。

ブルーリターンAは、難しい複式簿記の知識がなくても、簡単な入力方法で、青色申告特別控除65万円を適用でき節税になります。まだご利用していない方はぜひブルーリターンAの導入をおすすめします。最後にパソコンを30台用意して下さいました全国青色申告会総連合及び、講師を気持ちよく受けて下さいました、秋元次長に御礼を申し上げます。

(事務局職員) 渡辺 和久

神奈川県連・東京地区連・全青色青年部活動報告

10月23日・24日に東京地区連青年部秋季合同合宿研修会が開催されました。毎年、東京局管内の東京・千葉・山梨・神奈川の青年部が持ち回りで幹事会となり研修の場所と内容を決定し開催します。基本的には地元県(都)で行われますが、今年はなぜか栃木県鬼怒川で研修会が行われました。今回は東京都青連青年部の担当になっていましたが、都内では宿泊と研修会と懇親会のセットで行うのが難しいことや金額的に高くなってしまいうことが理由のようです。ずいぶん遠いような気がしましたが、新宿から特急で2時間ほどで到着できました。研修内容は宿泊先の女将さんと副支配人による最近の事業状況についてお話しいただきました。外国人観光客の増加による成功事例や困ったことなど観光地ならではの講話でした。顔見知りの部員さんも多く参加していましたので、各会青年部の活動などじっくりと意見交換することが出来ました。

11月18日神奈川県連青年部研究会 神奈川県内の青年部員が集まり研究会を開催しました。研修1は横浜中税務署特別記帳指導官の加藤俊枝様に「税務におけるマイナンバーの実務」と題していよいよ本格運用が始まるマイナンバーの記載個所や注意点などご説明いただきました。研修2では元海上保安庁警備救難課に長く在籍されていた宮崎郁様をお招きし、海上保安庁の概要や警備救難業務についてお話しいただきました。在職中は関東地区の海保基地に所属し、潜水士として厳しい任務に就いておられました。昔は訓練施設も整っていなかったため、当然志願者も少なかったとのこと。災害救助の場面で自衛隊の皆さんの活躍が報じられるところを見かけますが、実はヘリからの被災者収容は海保の得意分野であり、現実に多く出動されているとのことでした。

11月28日・29日全青色青年部研究会 全国の青年部員が御茶ノ水の中央大学駿河台記念館に集まり研究会を開催しました。第1部は大高醤油株式会社社長の大高衛様にご講演いただきました。千葉県山武(さんむ)市で江戸時代から続く歴史ある会社です。大高様は元全国商工会青年部連合会会長を歴任され組織運営や異業種交流などで活躍されました。直接青色申告会とは関係のない方ではありますが、活動の本質は同じところにあることを感じました。事業の基本はマーケティングであり、そのデータを正確に把握しお客様は何を求めているのかを事業に反映させることが大事であるとのことでした。現在は地元で1次産業(農業・漁業など)および行政と連携して地元中小企業の発展や新たな事業者の立ち上げや育成に尽力されています。ご自身の会社も東北の震災で売り上げが半減し、廃業の手前まで落ち込んだ経験があり、あきらめず走り続ける姿勢を崩さずに努力したことと今へ至っているとのこと。第2部は大高様と全青色青年部部長の小林さん東京地区連青年部部長の斉藤さんがパネラーとなり、私が司会進行役を務めパネルディスカッション形式で青年部活性化について討論しました。その後はいつもの通り懇親会で盛り上がり再会を約束して散会となりました。

(神奈川県連・大和会青年部長) 下田 兼義

仲間にないませんか!
大和青色申告会青年部

入部申込は担当の渡辺まで

電話 046-262-5111



受付